

クラス番号	313	担当教員名	末盛 慶
		他専修学生受入上限人数	2名
テーマ	社会学的な視点を用いて現代社会の諸相を理解した上で、私たちの未来を考える		
著書・論文 研究課題等	「夫の家事遂行および情緒的サポートと妻の夫婦関係満足感」『家族社会学研究』第 11 号(1999) 「母親の就業は子どもに影響を与えるのか」『家族社会学研究』第 13 巻 2 号 (2002) 「職場環境と男性のワーク・ライフ・バランス」『揺らぐ子育て基盤』（共著）勁草書房(2010) 「単身高齢者の精神的健康－ジェンダーの視点による検討」『社会保障研究』第 2 巻 1 号 (2017) 「生活戦略という概念の可能性」『日本福祉大学研究紀要－現代と文化』第 136 号 (2017) 「シングルマザーの家族生活と仕事生活に関する生活戦略」『社会福祉論集』第 148 号 (2023)		

ゼミナール概要

キーワード：社会学、資本主義、世界情勢、近現代史、家族、ジェンダー、地域社会、社会調査

目的、内容、方法等：

本ゼミでは、社会学的な視点にもとづいて、現代社会の諸相を理解した上で、ともに未来を考えていきます。具体的には、資本主義、世界情勢、近現代史、ジェンダー、家族、地域社会等を取り上げる予定です。

授業計画：

3年生の前期は、上記のテーマに関する文献にもとづきながら、輪読とディスカッションを行い理解を深めていきます。輪読の作業はグループワークで行います。

ゼミの核（コア）は、学生同士のディスカッションです。「自分が伝えたいことを他者にきちんと伝えられるようになること」を目指します。学生同士の議論がゼミの中心を成します。司会も学生が担当します。

3年生の後期は、社会調査の演習を行います。本ゼミでは、「アンケートを自分で作成し、データを取り、それに対してエクセルなどで分析を行い、口頭報告する」という技術の習得を目標としています。インタビュー調査を行うこともあります。加えて、3年の最終回のゼミに卒業論文の中間レポートを提出してもらいます。

4年生の目標は、卒業論文の執筆と国際情勢および近現代史の理解です。本ゼミでは卒業論文を夏までに提出することを目標としています。その後は、国際情勢や近現代史を視聴覚資料も活用しながら理解していきます。

以上2年間を通しての達成目標は以下の3つです。1．さまざまな社会現象や未来を社会学的および歴史的な視点で見ていく力の獲得、2．アンケートやインタビューを用いた調査方法とデータをまとめる技術の習得、3．根拠にもとづきながら論理的に話ができる力の獲得、です。この3つをしっかりと身につけることができるかは、みなさん1人1人の「意識の持ち方」次第です。ゼミ活動に真剣に取り組む学生をお待ちしております。

【備考】

- ・各自治体（名古屋市、東海市、半田市等）の事業や審議会の見学・参加等を有志で随時募ります。
- ・卒業論文の作成の際、何らかの社会調査（量的・質的どちらでも可）を行うことを条件としています。
- ・春季および夏季期間に課題を出すことがあります。
- ・将来、公務員（行政職・福祉職等）、一般企業、大学院への進学を考えている学生を歓迎します。
- ・学生1人ひとりのキャリアの相談相手になりたいと思います。

担当教員からのメッセージ



皆さんにとって大切な2年間になります。ゼミの課題等が少々大変でも「自分を鍛える」という感覚を持ちながら、この2年間を過ごして欲しいです。

現代の国際情勢がどういう状況にあり、私たちはどういう時代に生きているのか。こうした点を踏まえた上で、これから私たちができることを共に議論していきます。

やるべきことはしっかり取り組み、どこかほっとできて何だか楽しい。そのようなゼミをみなさんと一緒に作っていききたいと思います。